

【学習の目標と学習方法】

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

授業について * 授業は、教科書の内容を中心に進めていく。 * 教科書、ノートは毎時間必要。その他の持ち物は教科係から知らせる。 * 知識事項の暗記だけでなく、自分の意見・考えを書くこと、発言することを重視する。さらに自分以外の人の意見や考え方を理解し、視野を広げようとする姿勢を大切にする。	家庭学習では * 理解したことを定着させるためにも、授業で習ったことを家庭で復習する時間を持つ。 *ドリルパークを積極的に活用しましょう。 *宿題は、必ずやりましょう。 *漢字・語句の意味・文法などの知識事項は繰り返し復習しておく。 *日ごろから新聞やニュースに触れ、そこで自分の意見や考えをもつことは、国語力アップの基礎となる。			
		評価観点	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等
			社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
		評価資料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業観察 ・提出物(書写作品等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業観察(発言内容、発表、グループ活動への参加、取り組み状況等) ・提出物(作文、課題プリント、ノート等) ・定期テスト ・小テスト

1年	4月 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3											書写20h 計140h
	言葉に出会うため に 1学びを開く 書写19h	2新しい視点で 情報生きる 16h	3言葉に立ち止まる 読書生活を豊かにする 書写18h	夏休み	4心の動き 16h	5筋道を立て 17h	6いにしえの心にふれる 7価値を見いだす 読書に親しむ 書写25h	冬休 み	8自分を見つめる 書写26h	まとめ 3h		
2年	4月 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	1見えないだけ 広がる学びへ 18h	2多様な視点か ら 情報社会を生き る 14h	3言葉と向き合う 読書生活を豊かに 11h	夏休み	4人間のきずな 16h	5論理を捉えて 6いにしえの心を訪ね る 10h	7価値を語る 読書に親しむ 書写 30h	冬休 み	8表現を見つめる 書写 37h	まとめ 4h	書写20h 計140h
3年	4月 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	世界は美しいと 1深まる学びへ 14h	2視野を広げて 情報社会を生き る 13h	3言葉とともに 読書生活を豊かに 書写 22h	夏休み	4状況の中で 11h	5自らの考えを 書写 19h	6いにしえの心を受け継ぐ 7価値を生み出す 読書に親しむ 15h	冬休 み	7未来に向かって 12h	まとめ 9h	書写10h 計105h